



同期関係の管理 Cloud Manager

Ben Cammett
February 14, 2021

目次

同期関係の管理	1
データの即時同期を実行しています	1
同期パフォーマンスの高速化	1
同期関係の設定を変更する	2
パスに関するレポートの作成と表示	4
関係の削除	6

同期関係の管理

データの即時同期やスケジュールの変更などにより、いつでも同期関係を管理できます。

データの即時同期を実行しています

スケジュールされた次回の同期を待つのではなく、ボタンを押すと、ソースとターゲットの間でデータをすぐに同期できます。

手順

1. 同期ダッシュボード * で、同期関係にカーソルを合わせ、操作メニューをクリックします。



2. [今すぐ同期] をクリックし、[* 同期] をクリックして確定します。



Cloud Sync は、関係のデータ同期プロセスを開始します。

同期パフォーマンスの高速化

リレーションシップにデータブローカーを追加することで、同期リレーションシップのパフォーマンスを向上させます。追加のデータブローカーには、_NET_DATA ブローカーを指定する必要があります。

関係内の既存のデータブローカーが他の同期関係で使用されている場合、Cloud Sync は自動的に新しいデータブローカーをこれらの関係に追加します。

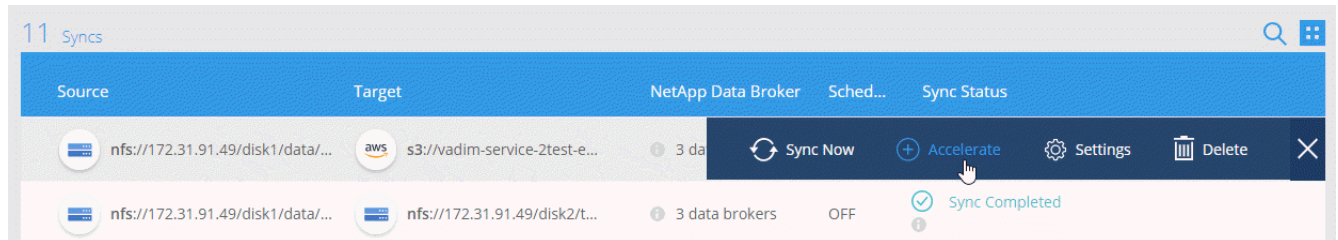
たとえば、次の 3 つの関係があるとします。

- 関係 1 はデータブローカー A を使用します
- Relationship 2 では、データブローカー B が使用されます
- Relationship 3 では、データブローカー A を使用します

リレーションシップ 1 のパフォーマンスを高速化して、そのリレーションシップに新しいデータブローカーを追加したいと考えています (データブローカー C)。データブローカー A はリレーションシップ 3 でも使用されるため、新しいデータブローカーも自動的にリレーションシップ 3 に追加されます。

手順

1. 関係にある既存のデータブローカーの少なくとも 1 つがオンラインであることを確認します。
2. 同期関係の上にカーソルを置いて、[アクション]メニューをクリックします。
3. [*Accelerate] をクリックします。



は、マウスポインタで強調表示されます。"]

4. プロンプトに従って、新しいデータブローカーを作成します。

Cloud Sync は、新しいデータブローカーを同期関係に追加します。次のデータ同期のパフォーマンスを高速化する必要があります。

同期関係の設定を変更する

ソースファイルとフォルダの同期方法とターゲットの場所での保持方法を定義する設定を変更します。


1. 同期関係の上にカーソルを置いて、[アクション]メニューをクリックします。
2. [* 設定 *] をクリックします。
3. 設定を変更します。

General

Schedule	ON Every 1 Day	▼
Retries	Retry 3 times before skipping file	▼

Files and Directories

Recently Modified Files	Exclude files that are modified up to 30 Seconds before a scheduled sync	▼
Delete Files On Source	Never delete files from the source location	▼
Delete Files On Target	Never delete files from the target location	▼
Object Tagging	Allow Cloud Sync to tag S3 objects	▼
File Types	Include All: Files, Directories, Symbolic Links	▼
Exclude File Extensions	None	▼
File Size	All	▼
Date Modified	All	▼

 Reset to defaults

[削除ソース] 各設定の簡単な説明を次に示します。

スケジュール

以降の同期に対して繰り返し実行するスケジュールを選択するか、同期スケジュールをオフにします。データを 1 分ごとに同期するように関係をスケジュールできます。

再試行

ファイルをスキップする前に Cloud Sync がファイルの同期を再試行する回数を定義します。

最近変更されたファイル

スケジュールされた同期よりも前に最近変更されたファイルを除外するように選択します。

ソース上のファイルを削除します

このオプションを有効にする場合は、データブローカーで `local.json` ファイルのパラメータも変更する必要があります。ファイルを開き、 `workers.transferrer.delete-on-source` という名前のパラメータを `* true *` に変更します。

ターゲット上のファイルを削除します

ソースからファイルが削除された場合は、ターゲットの場所からファイルを削除することを選択します。デフォルトでは、ターゲットの場所からファイルが削除されることはありません。

オブジェクトのタグ付け

AWS S3 が同期関係のターゲットである場合、Cloud Sync は、同期操作に関連するメタデータを使用して S3 オブジェクトにタグ付けします。環境で S3 オブジェクトのタグ付けが不要な場合は、タグを無効にできます。タグ付けを無効にしても、Cloud Sync には影響はありません。Cloud Sync は同期メタデータを別の方法で保存します。

ファイルの種類

各同期に含めるファイルタイプ（ファイル、ディレクトリ、シンボリックリンク）を定義します。

ファイル拡張子を除外します

▶ https://docs.netapp.com/us-en/occm/media/video_file_extensions.mp4 (video)

ファイルサイズ

サイズに関係なくすべてのファイルを同期するか、特定のサイズ範囲のファイルのみを同期するかを選択します。

変更日

最後に変更した日付、特定の日付以降に変更されたファイル、特定の日付より前、または期間に関係なく、すべてのファイルを選択します。

アクセス制御リストをターゲットにコピーします

ソースの SMB 共有とターゲットの SMB 共有の間でアクセス制御リスト（ACL）をコピーするように選択します。このオプションを使用できるのは、2020 年 2 月 23 日リリース以降に作成された同期関係のみです。

4. [設定の保存 *] をクリックします。

Cloud Sync は、新しい設定との同期関係を変更します。

パスに関するレポートの作成と表示

レポートを作成して表示すると、NetApp の担当者がデータブローカーの構成を調整し、パフォーマンスを向上させるために役立つ情報を入手できます。

各レポートには、同期関係にあるパスに関する詳細情報が表示されます。たとえば、ファイルシステムのレポートには、ディレクトリとファイルの数、ファイルサイズの分布、ディレクトリの深さと幅などが表示されます。

手順

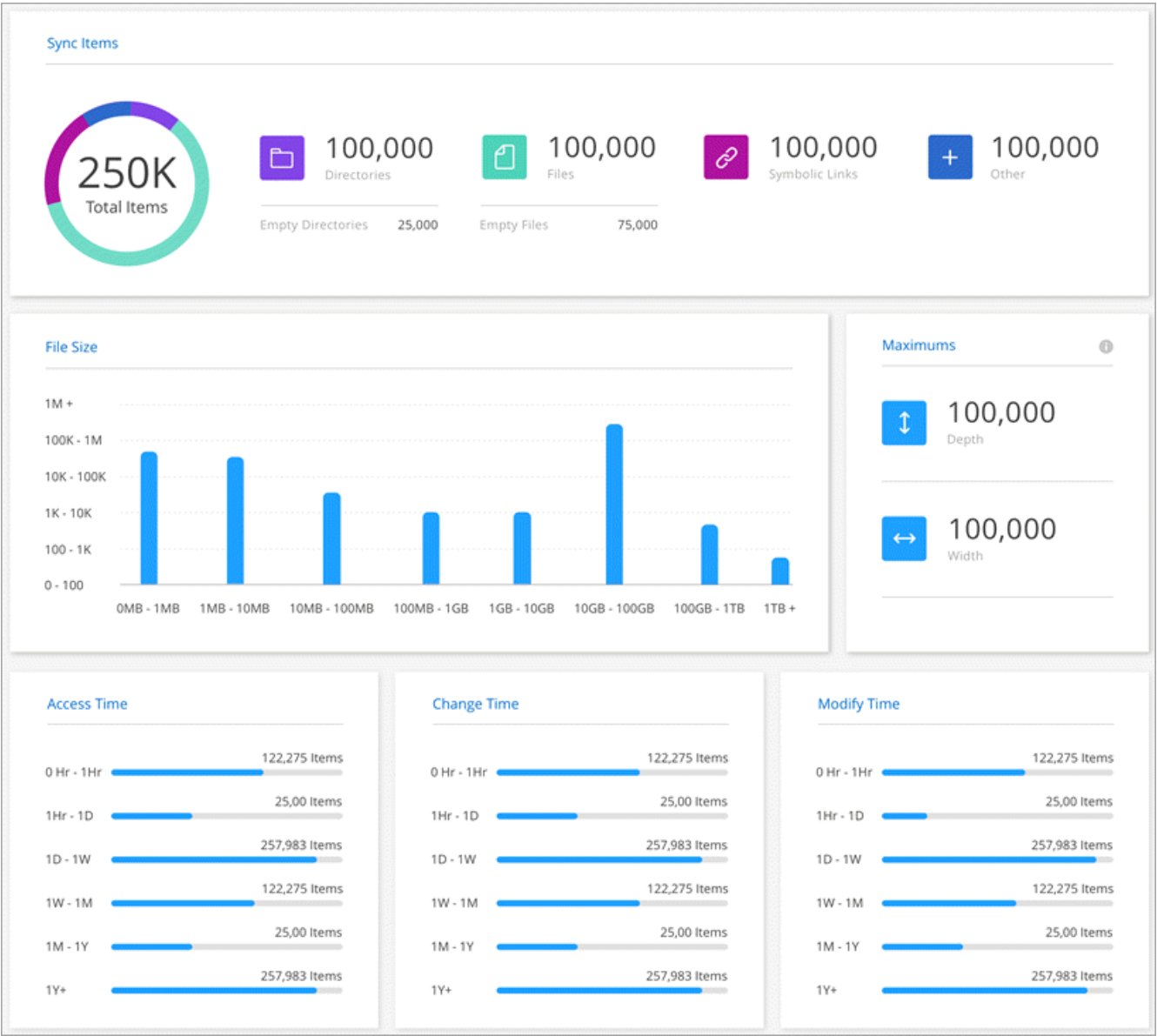
1. **[Reports]** をクリックします。

同期関係のそれぞれのパス（ソースまたはターゲット）が表形式で表示されます。

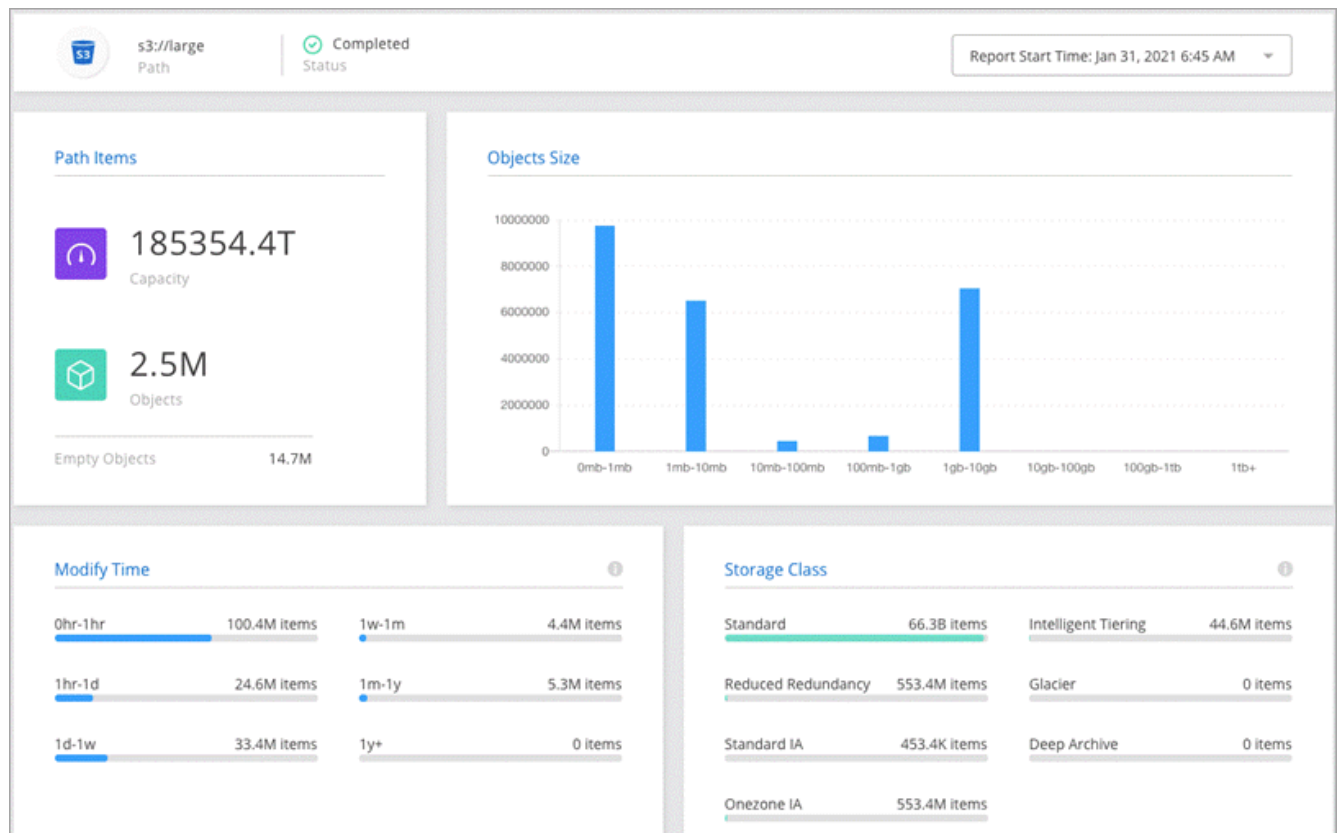
2. **[Reports]** 列で、パスの **[*Create New]** をクリックします。

3. レポートの準備ができれば、*** 表示 *** をクリックします。

ファイルシステムパスのサンプルレポートを次に示します。



次に、オブジェクトストレージに関するレポートの例を示します。



関係の削除

ソースとターゲットの間でデータを同期する必要がなくなった場合は、同期関係を削除できます。このアクションでは、データブローカーインスタンスは削除されず、ターゲットからデータは削除されません。

手順

1. 同期関係の上にカーソルを置いて、[アクション]メニューをクリックします。
2. [削除]をクリックし、もう一度[削除]をクリックして確定します。

Cloud Sync は同期関係を削除します。

Copyright Information

Copyright © 2021 NetApp, Inc. All rights reserved. Printed in the U.S. No part of this document covered by copyright may be reproduced in any form or by any means-graphic, electronic, or mechanical, including photocopying, recording, taping, or storage in an electronic retrieval system-without prior written permission of the copyright owner.

Software derived from copyrighted NetApp material is subject to the following license and disclaimer:

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY NETAPP "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, WHICH ARE HEREBY DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL NETAPP BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

NetApp reserves the right to change any products described herein at any time, and without notice. NetApp assumes no responsibility or liability arising from the use of products described herein, except as expressly agreed to in writing by NetApp. The use or purchase of this product does not convey a license under any patent rights, trademark rights, or any other intellectual property rights of NetApp.

The product described in this manual may be protected by one or more U.S. patents, foreign patents, or pending applications.

RESTRICTED RIGHTS LEGEND: Use, duplication, or disclosure by the government is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c)(1)(ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 252.277-7103 (October 1988) and FAR 52-227-19 (June 1987).

Trademark Information

NETAPP, the NETAPP logo, and the marks listed at <http://www.netapp.com/TM> are trademarks of NetApp, Inc. Other company and product names may be trademarks of their respective owners.